

王朝の夢舞台 グラナダ・アルハンブラ宮殿貸切見学

Exclusive Private Visit to the Alhambra Palace in Granada

イスラム建築最高傑作 アルハンブラ宮殿

アラビア語で「赤い城」を意味する13世紀建造の宮殿は、
スペイン最後のイスラム王朝が繁栄した証であり、内部は精緻の限りが尽くされています。
水と緑にあふれるこの地は、砂漠から来たアラブ人にとってまさに“地上の楽園”でした。

最大の見どころは、王の住まいであったライオン宮などが集うナスル朝宮殿。

そして、離宮ヘネラリフェ庭園にも足を延ばします*。

アルハンブラ宮殿は、その人気から厳しい入場制限が行われ、昨今では入場自体が困難ともなるなか、
閉館後に貸切ることにより、ナスル王朝の歴代カリフのようにゆったりと歩きながら、円柱や壁、天井など
あらゆる装飾を間近でじっくりと眺められる贅沢な体験をしていただけます。

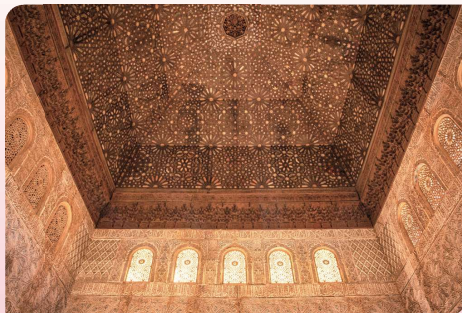
*Bコース「ゆったり度3の旅」を除く



アラヤネスの中庭は「水の芸術」ともいえる中心部



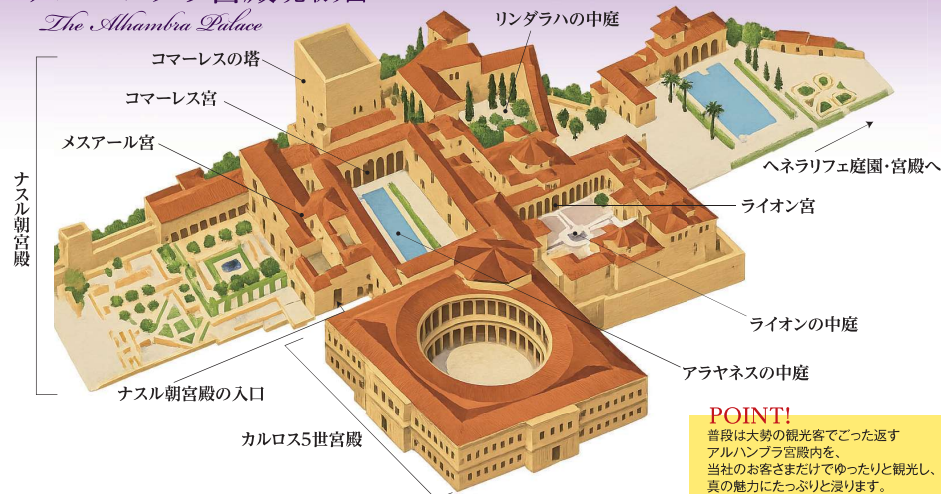
ライオンの噴水は水時計の役割を果たした



玉座が置かれた「大使の間」の天井は、星が降るような幻想的な装飾

アルハンブラ宮殿 見取り図

The Alhambra Palace



POINT!

普段は大勢の観光客でごった返す
アルハンブラ宮殿内を、
当社のお客さまだけでゆったりと観光し、
真の魅力にたっぷりと浸ります。



キリスト教徒がのちの時代に造った カルロス5世宮殿

ナスル朝宮殿を楽しめるよう、すぐ隣に建造された
16世紀の壮麗な宮殿。スペイン・ルネサンス様式
でも最も重要な建築物の1つがイスラム建築のすぐ
隣に並び、その対比がおもしろい。

代々の王が休暇を過ごした夏の離宮 ヘネラリフェ宮殿

13世紀に建造され、ナスル朝宮殿を見下ろす丘に佇む庭園に囲まれた別荘。「水の宮殿」とも呼ばれるのは、
グラナダ郊外にそびえるシエラ・ネバダ山脈の雪解け水を利用した水路や噴水が設けられているため。
砂漠の民であるアラブ人が水への憧れを体現した理想の桃源郷もじっくりとご覧いただけます。(Bコースを除く)



約50mの掘割のあるアセキアの中庭



夜になるとアセキアの中庭はより一層幻想的な世界に

“キリスト教の大聖堂”と“イスラムモスク”が
共存する唯一無二の場所

コルドバの至宝 メスキータ貸切見学

※Eコースはコルドバの訪問、
メスキータの貸切見学はございません。

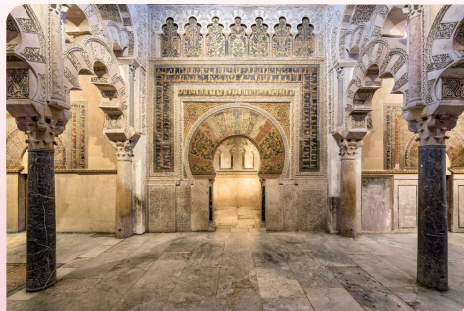
Exclusive Private Visit to Córdoba's Treasure, the Mezquita

2つの宗教が共存する奇跡の建築物

コルドバを流れるグアダルキビル河にかかる橋からのメスキータの眺めは、ヨーロッパのどこの街にもある教会のようにも見えます。しかし、ひとたびなかに足を踏み入れると、その印象は一変。約850本にもよる赤と白の大円柱群が目に見え込んできます。この地コルドバは、かつて一帯を支配した“後ウマイヤ朝”の首都、遥か1,000年も前に50万人を超えたとも記録されるほどの人口を誇った世界最大級の都市でした。そして、その中心に鎮座したのがこのメスキータです。アラブ人の祈りの場“モスク”を意味するスペイン語であるメスキータは、785年に建設がはじめられ、増改築を繰り返して世界最大規模のモスクとなり、その後キリスト教徒による支配がはじまると、この壮大な建物の中央を貫く形で大聖堂が建てられました。



かつては約25,000人を収容できる大モスクだったメスキータ。大理石と赤いレンガを組み合わせたアーチがどこまでも広がる



アラベスク模様やモザイクで美しく飾られたミフラーブは、メッカの方角を示す



マスキラの天井部分の装飾。マスキラはミフラーブを強調する空間で、アツラーに祈りをささげた場・高窓から光が差し込む



メスキータ オルガン演奏と聖歌隊のコーラス

*Organ Recital and Choir Performance
at the Mezquita*

当社のお客さまだけの貸切見学とともに、オルガンと聖歌隊メンバーによる
荘厳な唱の調べ（ミニコンサート）をお楽しみいただけます。

無数のアーチが織り成す幻想的な雰囲気の中、
美しい音色が響くここだけの体験をご堪能ください。

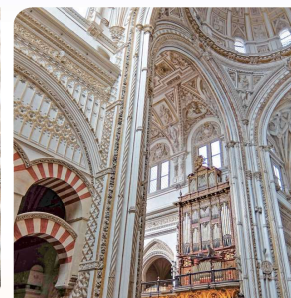
※メスキータ側の都合により、聖歌隊の人数が掲載写真とは異なる場合があります。

大聖堂 *Catedral*

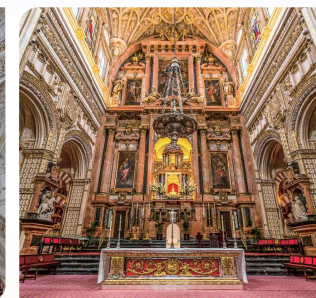
1236年、コルドバの街がキリスト教徒の手に渡ると、それまでイスラム教徒が利用していたメスキータ（モスク）は
カトリック教会として使われるようになりました。15世紀になると、敷地の真ん中に礼拜堂が建造され、
ここからモスクと大聖堂の融合という、いまだかつてない建造物が誕生しました。



大聖堂の中心に位置する聖歌隊席



モスクと大聖堂の項目がみえる



中央礼拜堂はステンドグラスから光を取り込んでいるため明るい、
周囲を囲む円柱の森のの暗さとの対比が見事

イスラム文化の中心地コルドバ *Córdoba*

756年にイスラム王朝の1つ“後ウマイヤ朝”の建国以来、最盛期には300ものモスクが立ち並び、東ローマ帝国の首都コンスタンティノープルとその繁栄を競いました。また学問がこの街で花開き、医学・天文学・哲学・文学等の中心地として、古今東西の文献が翻訳されヨーロッパ全土へと発信されるまでとなりました。その繁栄した当時のままを残す旧市街が世界遺産となっています。



花の小径から振り返るとメスキータの鐘楼が見える



ローマ橋からの夜景